

1 平成29年度に実施した自校の学力調査結果(単位:%)

教科	観 点	全国学力・学習状況調査										6年A		6年B	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		本校平均 正答率	全国平均 正答率	本校平均 正答率	全国平均 正答率
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率	全国平均 正答率	本校平均 正答率	全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	81.4 81.0	65.6	71.4 71.8	68.1	74.6 68.3	65.6	81.0 76.4	65.6	74.1 70.6			46.8 41.7	
	話す力・聞く力	71.0	78.7 75.3	63.0	71.5 67.8	71.1	79.8 70.6	75.0	90.3 87.4	60.0	68.6 67.6	65.8	70.5	69.2 64.9	
	書く力	78.1	83.2 84.8	65.6	69.8 74.3	61.4	65.2 62.3	58.5	74.2 70.2	67.3	73.5 70.0	59.5	58.5	60.6 53.4	
	読む力	66.4	75.0 69.6	64.3	73.5 70.9	63.9	78.7 68.9	73.4	87.8 79.7	72.2	80.0 78.3	69.2	53.6	70.2 49.2	
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	96.1 95.7	80.9	88.8 89.1	67.4	75.7 72.8	68.4	78.7 72.9	69.2	78.6 74.9	82.3			
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					64.5	69.0 62.9	66.0	73.5 68.5	64.2	63.5 68.5				
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	69.3 65.5	65.2	70.8 68.4	65.0	65.4 67.7				
	観察・資料活用 の技能					71.3	74.6 75.1	67.9	70.9 69.0	69.4	69.1 72.2				
	社会的事象について の知識・理解					76.4	80.1 78.6	70.2	75.5 71.8	68.3	68.6 70.9				
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	70.0 66.5	56.5	57.6 58.2	67.5	76.7 71.0	59.3	66.3 62.8	40.0	44.7 37.2				
	数学的な考え方	70.7	76.1 72.5	63.9	67.7 68.6	60.6	72.6 66.1	60.2	68.2 63.8	56.1	57.3 56.1		51.8	45.4	
	数量や図形に ついての技能	82.5	89.0 86.2	76.9	78.8 80.0	76.1	83.1 79.8	71.4	78.4 74.2	71.0	72.0 71.7	79			
	数量や図形について の知識・理解	83.1	85.9 84.6	69.8	71.8 75.6	74.0	82.3 77.0	70.3	76.2 72.6	68.6	68.3 69.9	81.6	46.8	79.7 48.6	
理科	自然事象への関心・意欲・態度					67.7	66.3 73.0	61.1	65.7 66.3	70.4	68.8 77.2				
	科学的な思考・表現					58.4	59.7 62.5	54.8	55.6 56.3	62.6	63.0 67.7				
	観察・実験の技能					64.4	63.3 66.5	71.3	81.5 79.3	60.0	56.8 64.4				
	自然事象についての知識・理解					67.2	67.0 71.5	66.3	70.1 70.7	68.2	65.1 73.1				

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 自校における調査結果の分析

○観点別に見ていくと、国語・算数ではほとんどの項目で目標値に対して5ポイント以上、上回ることができている。全教科全観点で目標値を5ポイント以上、下回る項目がなくなった。

○国語では「言語についての知識理解」「話す聞く力」「読む力」の3項目どの学年もすべてが5ポイント以上、上回っている。昨年度よりも良い結果となり、日常的に自分の考えをまとめ、表現する「言語化させる場」を意識し、言語活動を重視してきている成果といえる。

○算数では、「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」の項目で、目標値を上回り、良好な結果となった。一昨年度までの研究で培った、問題を見だし、解決していく学習の流れを重視している成果と考えられる。

●国語での「書く力」では、目標値はどの学年も上回ることができたが、さらに向上させる余地がある。継続的に短作文指導、相手や目的意識を高める教材・説明文を活用しながら力を付けさせていく。

●社会・理科では、「社会的な思考・判断・表現」「科学的な思考・表現」の項目で目標値を上回ることができたものの、「技能」「知識・理解」の項目で目標値を下回ったものがあった。授業の中で振り返る時間をとる、小テストの実施、ノート整理など宿題の改善、東京ベーシックドリルを活用することで学習内容の基本事項・既習事項の定着を図っていく。

※今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての学力向上プラン）を10月下旬（予定）までに公表いたします。